スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【北海道岩内町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	北海道岩内町
担当課名	教育委員会生涯学習課
電話番号	０１３５－６７－７０９９

１．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	１１，２２２人	部活動数	１８部活
公立中学校数	２校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
公立中学校生徒数	２５０人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

休日の部活動においても教職員が指導を行っており負担が大きい。
働き方改革を進めるためにも、今後は外部に指導を移行することが必要と考える。
既存部活の継続、既存部活にない競技種類の拡大
保護者をはじめとする関係団体（者）の部活動に対する意識改革

岩内町立中学校部活動の現状

部活動 ※（ ）内は他学校との合同実施	第一中学校 （110／138人）			第二中学校 （85／112人）		
	１年	２年	３年	１年	２年	３年
野球（一中、二中、泊、共和）	2	1	1	1	4	1
卓球	１０	7	5	4	2	5
男子バレー（一中、二中）	1	0	0	5	0	6
女子バレー（一中、二中）	9	3	2	3	1	2
陸上	4	2	6			
男子バスケ	6	0	5	7	5	5
女子バスケ（一中、二中）	3	5	2	0	4	2
サッカー（一中、旭、余市東、蘭越）	2	1	4			
吹奏楽	3	3	5	3	5	6
美術	１５	0	3	2	5	6
計	５５	２２	３３	２５	２６	３３

※R５　12月　学校より聞き取りによる教育委員会調べ

令和７年度末までに、
土日祝日の部活動を地域クラブへ完全移行

平日	休日
【部活動】 ・学校教育活動 ・教員が指導 ・学校スポーツ保険適用 ・学校予算と関連 ・各種大会参加に向けた登録	【部活動】 ・基本的には休み ・大会の引率は要検討
	【地域クラブ】 ・全ての部活動の活動を実施 ・各種大会参加に向けた登録 ・大会の引率は要検討
	⇦段階的に移行検討

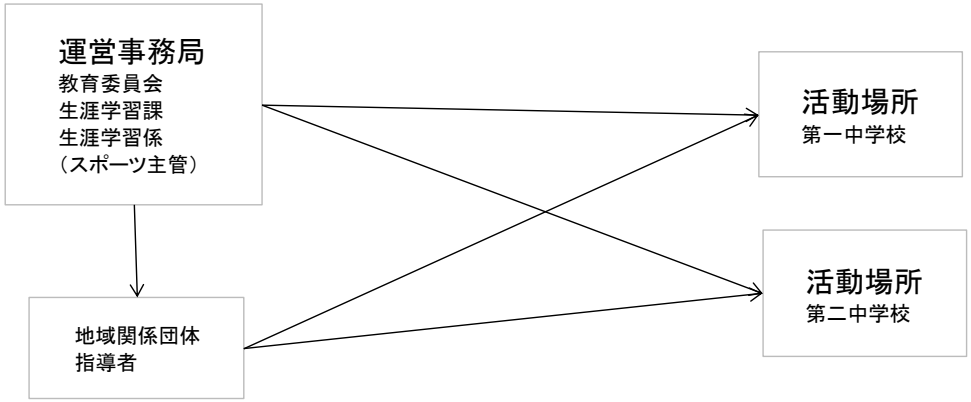
地域クラブ（岩内クラブ）
（教育委員会主体）の立ち上げ

- 児童生徒の多様な体験活動の場を提供
- 部活動種目の活動を確保
- 活動場所の確保
- 指導者の確保、調整
- 指導者謝礼等出納管理
- 参加者のスポーツ安全保険加入手続き
- 各種大会参加に向けた登録手続き

2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（総務・学校整備課、子ども未来課）
  部活動の方向性の確立
  地域連携、地域移行への協力
  学校施設管理

- **教育委員会**（生涯学習課）
  部活動地域移行における方向性の確立
  地域クラブ活動の運営

年間の事業スケジュール

７月：小中学生を対象とした部活動アンケートの実施
８月：小中学生を対象とした部活動アンケートの取りまとめ及び資料作成
１２月～２月：地域クラブ活動の実証事業の調整、実施
２月２８日：岩内町における部活動の地域移行に係る説明会（予定）

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

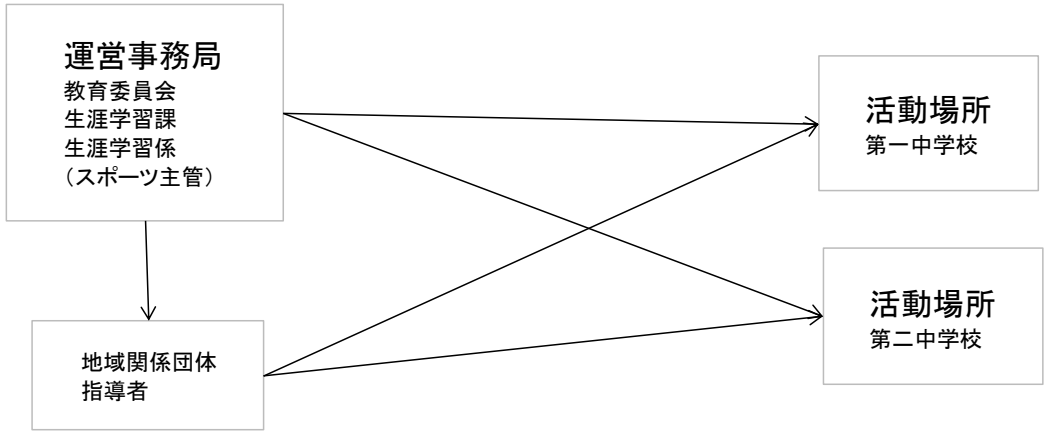
拠点校数	2校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	陸上競技、男子バスケットボール,女子バスケットボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	3部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	岩内第一中学校、岩内第二中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	2部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、バスケットボール
運営主体名	教育委員会
運営類型	市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
1か月あたりの平均的な活動回数	月4回程度
指導者の主な属性	少年団指導者
活動場所	学校施設
主な移動手段	徒歩圏（保護者送迎）
1人あたりの参加会費等（年額）	町負担（金額の設定無し）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	教育委員会が運営主体となり、陸上競技とバスケットボール（以下バスケ）の活動を地域クラブ活動として実証事業を実施
取組の成果	活動の指導者については、部活動で外部コーチとして指導している指導者に依頼し活動日は部活動顧問を休みとすることができた。 ほかにも、この活動を地域に周知することで外部コーチでないまでも部活動の指導に入ってくれている地域スポーツ団体の方へ指導者を依頼できそうな道筋ができた。 部活に入っていなかったり、他の部活動に入っていても地域クラブに参加できるようにすれば、体験の幅の広がりに繋げることができそうであると感じた。
特に工夫した事項	部活動での外部コーチに指導を依頼したので、参加者も部活動との違いに戸惑うことなく練習することが出来た。
今後の課題と対応方針	・今回は部活動で外部コーチとして指導している指導者に依頼し参加者も部活動部員だったため、部活動の延長のような形で実施することができたが、部活動に携わっていない指導者を依頼したり、参加者を部活動部員以外に増やした場合、部活動顧問との連携や対応する指導者を複数人にする検討が必要。 ・バスケは休日に練習試合が組まれることが多く、その際は部活動としての参加になるため、想定よりも地域クラブの活動ができなかった。また、今後、地域クラブ活動として練習試合を実施する場合の引率も出来る人材の確保が必要。 ・活動参加料の設定（年額、月額、日額）とそれに対する支援制度の検討。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

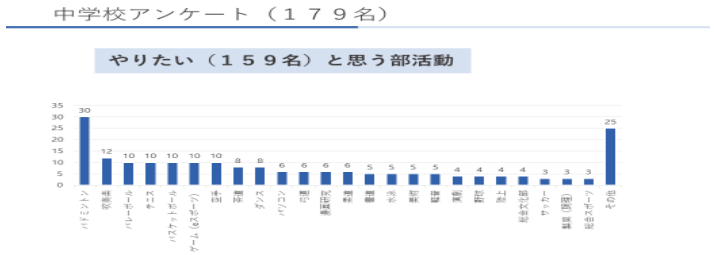
▼取組項目名：ク：その他の取組

取組事項

小中学生を対象とした部活動アンケートの実施
○対象学校：町内にある全ての小中学校（岩内東小学校、岩内西小学校、岩内第一中学校、岩内第二中学校　計４校）
○対象者：小学１年生～中学３年生　計５４９名
○アンケート実施期間：７月５日～７月３１日

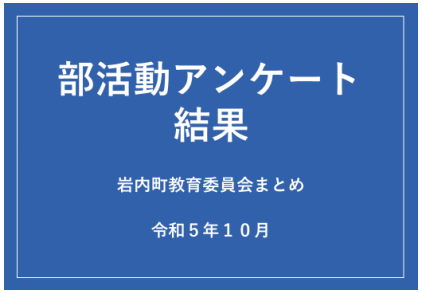
取組の成果

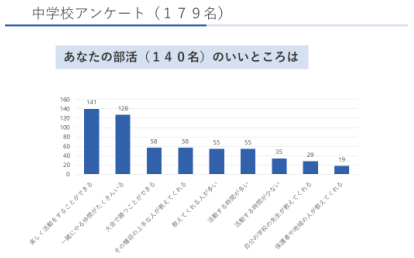
小学校低学年には学校の活動以外でやっていること、小学校高学年には部活動をやってみたいか、やるとすればどんな部活がよいか、中学校には部活動に求めることや部活動のいいところ、部活動に入っていない理由などを調査できた。
既存部活動にないバドミントンやテニスをやってみたいという結果から、地域クラブでは部活動にない種目も活動していける環境にするよう検討が必要と感じた。

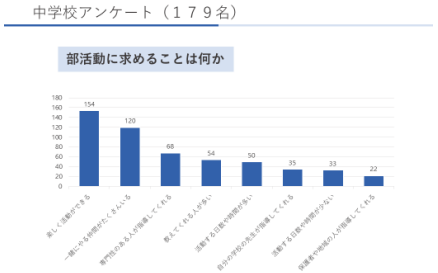


特に工夫した事項

アンケートについては、ペーパーレスとし、グーグルフォームで行ったが、回答率は小学生が８４%、中学生は７１%とまずまずであった。
集計については、非常にスムーズに行え時短となった。







今後の課題と対応方針

保護者に対しても意識調査が必要。
今後、どのような活動が部活動となりえるか、調査が必要。（活動種目や活動時間）
活動における経費負担についての調査が必要。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

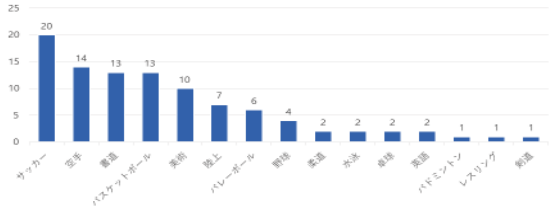
部活動アンケート結果

岩内町教育委員会まとめ

令和５年１０月

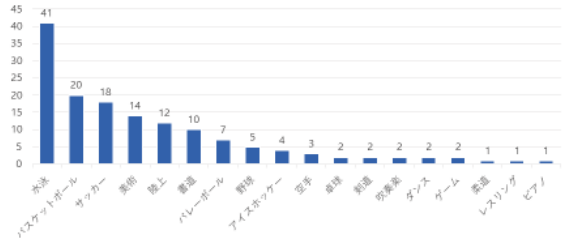
小学校低学年アンケート（１８７名）

学校の活動以外でやっていることはありますか？



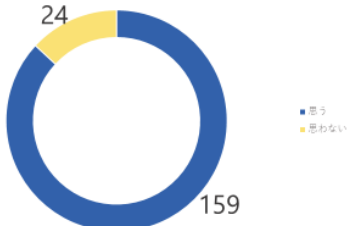
小学校低学年アンケート（１８７名）

これからやってみたいことはありますか？



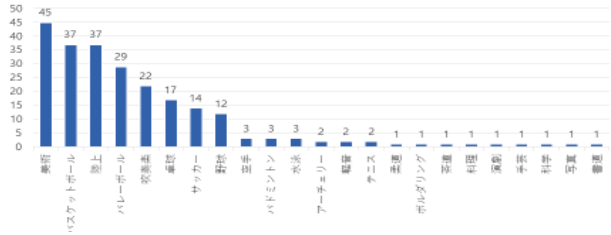
小学校高学年アンケート（１８３名）

部活動をやりたいと思う



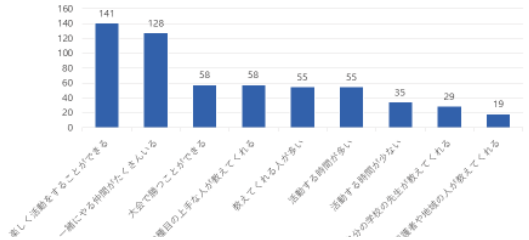
小学校高学年アンケート（１８３名）

やりたい（１５９名）と思う部活動



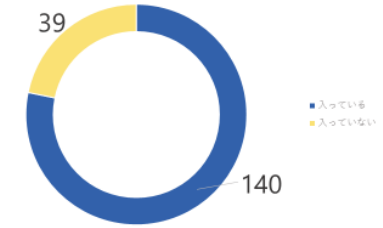
小学校高学年アンケート（１８３名）

どんな部活動ならいいと思う？



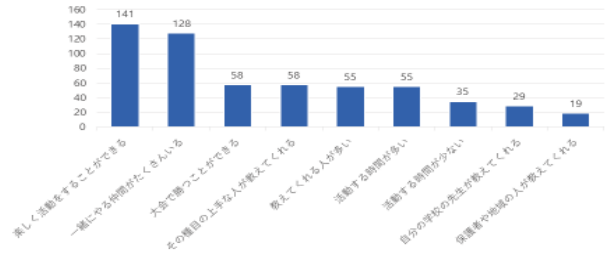
中学校アンケート（１７９名）

部活動に入っている



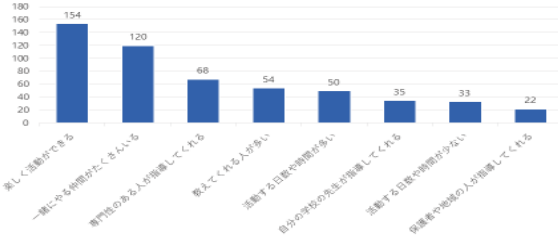
中学校アンケート（１７９名）

あなたの部活（１４０名）のいいところは



中学校アンケート（１７９名）

部活動に求めることは何か



2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【陸上競技活動】



【陸上競技活動】



【バスケットボール活動】



【バスケットボール活動】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年

学校現場への実証事業説明	指導者の選定、実証事業説明	学校現場、指導者と活動日場所調整	保護者へ実証事業説明	地域クラブ活動実証事業実施
教育委員会が主体となって、休日の地域クラブ活動を行う方針を各中学校へ説明。 活動にあたり、学校施設、部活動用具の借用協力依頼。 部活動に外部コーチがいるところ、地域の指導者が確保できたところから段階的に実施していく。	現在、部活動の外部コーチをしている指導者へ教育委員会が主体となって、休日の地域クラブ活動を行う方針を説明、及びその指導者にと打診。 地域クラブ活動指導者を了承いただき、活動実証事業の実施決定。	部活動顧問、地域クラブ活動指導者（外部コーチ）とで活動実施日を検討。実施日を教育委員会へ連絡。 教育委員会より、学校現場へ学校施設借用の依頼。施設の出入り、暖房の取扱など協議、確認。	教育委員会が主体となって、休日の地域クラブ活動を行う方針を説明。 地域クラブ活動実証事業実施の説明。 本年度の実証事業は、教育委員会負担で実施するため、地域クラブ活動参加に対する参加料などはなく、指導者も、部活動外部コーチである旨説明。	活動日は部活動顧問を休みとすることができた。 外部コーチでないまでも部活動の指導に入ってくれている地域スポーツ団体の方へ指導者を依頼できそうな道筋ができた。 部活に入っていなかったり、他の部活動に入っていても地域クラブに参加できるようにすれば、体験の幅の広がりに繋げることができそうであると感じた。

令和６年

協議会の設置	学校現場、地域、保護者へ地域クラブ活動説明	地域クラブ活動実証事業拡大	地域クラブ活動実証事業拡大	休日部活動の完全地域移行

令和７年

令和８年

3．今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

平日	休日	岩内クラブ(仮)	岩内クラブ以外
【部活動】 ・学校教育活動 ・教員が指導 ・学校スポーツ保険適用 ・学校予算と関連	【部活動】 ・令和８年度までに完全移行 ・大会の引率は時間外申請	【教委主体】 ・児童生徒の多様な体験活動の場を提供 ・全ての種目の児童生徒が加入 ・指導者の紹介・調整 ・スポーツ安全保険手続き ・各所活用申請 ・各種大会への事務手続き ・謝礼等出納管理	【各協会所属】 ・各協会が主体 ・岩内町からの補助金あり
【地域クラブ】 ・学校教育活動外 ・地域人材が指導（教員が指導する場合は兼職発令） ・スポーツ安全保険適用	【地域クラブ】 ・学校教育活動外 ・地域人材が指導（教員が指導する場合は兼職発令） ・スポーツ安全保険適用		【各協会所属以外】 ・保護者や地域が主体 ・岩内町からの補助金無し
←段階的に移行	←指導者派遣等		

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
・地域スポーツ活動実証事業 ・講師招聘による説明会の実施 ・令和８年度に向けた基本構想の提示 ・児童生徒アンケートの実施	・生徒指導部会における部活動の検討 ・各種協会との協議 ・協会外団体との協議 ・他市町村との協議 ・児童生徒アンケートの実施 協議会の設置	・Ｒ８を見越した部活動の展開 ・各種協会との協議 ・協会外団体との協議 ・他市町村との協議 ・児童生徒アンケートの実施	・開校 ・平日の地域移行化に向けた取組